

白南中だより

教育目標 創造 挑戦
育てる力 主体性
たくましさ
心の回復力
令和4年11月24日(木)
新潟市立白南中学校 発行

心に残る創立20周年記念式典並びに記念コンサート

校長 和泉 哲章

11月19日(土)、創立20周年記念式典並びに記念コンサートを開催しました。ご来賓の五十嵐南区長様をふくめ100名以上の地域、保護者の方から多数おいでいただきました。

白南中学校は、平成15年4月、新飯田中学校、庄瀬中学校、白根第一中学校の茨曾根小学校区を統合し、開校しました。開校に先立つ平成9年2月には、当該市議会議員、自治会長、PTA役員等による南部中学校統合促進協議会が発足し、建設場所や校舎設計などについて検討が進められました。また、平成13年4月には、各校PTAによるPTA準備委員会が発足し、各地域の意見を取りまとめながらPTA会則及び学校後援会等の検討が進められました。教育課程についても、新飯田中学校、庄瀬中学校、白根第一中学校の校長及び教職員が検討を重ねました。新飯田、茨曾根、庄瀬は、それぞれ特有の歴史や文化をもって栄えてきましたが、生徒数の減少という現実を直視し、子どもたちの教育環境の向上を第一に考え、様々な困難を乗り越えて統合を成し遂げました。この一大事業を成し遂げた先人たちの強い意志と努力にあらためて感謝したいと思います。以来20年、歴代校長をはじめとする教職員の努力と保護者、地域の支えをいただき、特色ある教育活動を続けてきました。この3年間は新型コロナウイルス感染拡大の中であって、感染対策を講じながら、「学びを止めない」という強い思いから、学校行事をはじめとする教育活動を展開してきました。これも保護者、地域のみなさんの力強い応援のおかげです。本当にありがとうございました。これからも、ワクワクするような教育活動を展開し、子どもたちが白南中学校の生徒でよかった、白南中学校で学べてよかったと思えるような学校づくりに努めていきたいと思えます。

今後とも変わらぬご支援をいただけますようお願いいたします。



実行委員長 清水雅己 PTA 会長



祝辞：新潟市南区長 五十嵐雅樹 様 学校支援課長 丸山明生 様



生徒会長の中山 月さんは、感謝のことばの中で、自分たちの活動を温かく見守り、支えてくださっている地域のみなさんとよりよい校風を築き、卒業しても自分たちを応援してくれる先輩たちに感謝を述べました。

記念合唱：タンホイザー行進曲・故郷



タンホイザー行進曲は、東京学館新潟高等学校吹奏楽部のトランペット隊が参加。トランペットによって、気持ちが高揚した、格好良かったという感想がたくさん聞かれました。会場の体育館に祝典の雰囲気が増幅しました。歌声もとてもよく響いていて、感動の合唱になりました。

2曲目の「故郷」は混声4部合唱でした。コロナがなければ、会場のみなさんと一緒に歌いたかったのですが、参加した地域の方からは、涙が出そうだったという感想が何人からも聞かれました。



三味線プレイヤー史佳&三味線高橋竹育親子による記念コンサート



順調だった人生に予期せぬうつ病を発症。すべてを捨て、失意の内に新潟に帰郷した史佳さん。「史佳を失いたくなかった」そのときの切ない気持ちを母・高橋竹育さんが語ってくれました。新潟に帰っても、何も手につかない毎日でしたが、幼い頃より習ってきた三味線の手だけは動くことに気づきます。子どもの頃、嫌いだった三味線ですが、母である師匠に導かれて三味線とともに生きることを決意。夢の実現に向けて、表の努力とともに裏の努力を続けます。ついに音楽の殿堂、ニューヨークのカーネギーホールでの公演を成し遂げ、ジャズの巨匠、ロン・カーターとの共演を果たします。2022年8月、新潟市民芸術文化会館にて、再びロン・カーターとの夢の共演を果たします。三味線演奏のすばらしさはもちろん、困難を乗り越え、夢の実現に努力してきた自身の生き方を語ってくれました。弟子である更家健吾さんからも、史佳さんとの出会いや自分のやりたいことを見つけることの大切さを語ってもらいました。後半は、シンセサイザーを使った新しい曲を披露。会場全体が、手拍子をしながらか、大変盛り上がり、心に残る記念コンサートになりました。